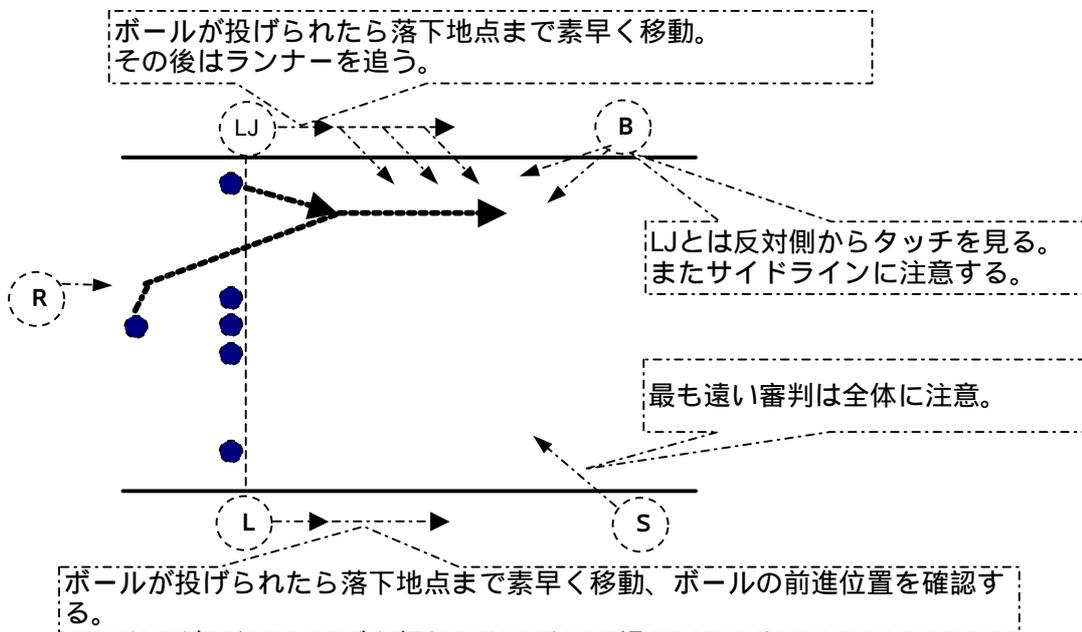


パスプレイの場合

- ・ RはQBを、投げ終わるまで見る。
- ・ L、LJは、パスが投げられるまではスクリメージライン付近を注意するとともに、パスが投げられるまではスクリメージライン上(つまり最初の位置)を動かずに、スクリメージラインを超えてからパスが投げられていないか確認する。
- ・ L、LJは、パスが投げられたらパスの落下地点へサイドライン上を移動し、キャッチ、タッチを見れる位置、およびボールの前進地点を確認できる位置へ進む。
- ・ パスがキャッチされた後の動きは、ランの場合と同じである。つまり近い方の審判がタッチを、遠い方の審判がボールの前進位置を確認する。
- ・ BとSは、LやLJが素早く移動できる距離のパスであれば、キャッチ、タッチの判定はLやLJに任せ、自身は、キャッチやタッチの周辺の反則、およびサイドラインに気を配る。なお、場合によってはLやLJの側から確認できないタッチがあるので、自身の側からタッチがある場合にはこれを判定する。
- ・ 長い距離のパスであれば、BとSが落下地点付近へのサイドラインへ移動し、キャッチ、タッチの判定を行う。このとき、遠い側のBまたはSはボールの前進地点を確認する。



[審判講習会の内容に戻る。](#)